

障害学生支援の観点から考えるユニバーサルデザイン

高橋 由子（高知大学 学び創造センター 特任助教）

講師略歴

発達障害児・者の支援法に関する臨床・研究を行ってきており、2021年より現職。高知大学の発達障害等のある大学生の修学支援に取り組みながら、2021年度ダイバーシティ推進共同研究支援制度の助成を受け、「授業のUD化と合理的配慮 Tips みんなが学びやすい授業づくり」を発行。学内外においてユニバーサルデザインな授業づくりに関するFDを実施している。

プログラム概要

改正障害者差別解消法は2024年4月より施行されており、私立大学等においても、法的義務として合理的配慮の提供が求められるようになりました。法では、合理的配慮の提供とあわせて、合理的配慮の基礎となる基礎的環境整備（事前的改善措置）を進めていく必要があることが示されています。授業における基礎的環境整備の一つに授業等のユニバーサルデザインがあります。

このプログラムでは、「障害学生支援の観点から考えるユニバーサルデザイン」に焦点をあてて、学生対象のオリエンテーション、ガイダンス等の行事や授業の工夫について紹介をしていきます。

準備物・事前課題

プログラム中に、二次元コードを示し、スマートフォン等で反応を求める場合があります。ネット接続可能な端末があればお持ちください。なくても参加可能です。

主な受講対象者

・授業担当者、学務・学生支援担当教職員

到達目標

1. 多様な学生を想定したUDな視点での資料・授業づくりの必要性を理解することができる。
2. 多様な学生を想定したUDな資料・授業づくりの工夫を知ることができる。
3. 今後の活用したいとおもう工夫を考えることができる。